

(参考)

(案)
主要な取組実績 (概要)

◎前文に「主要な取組実績」として表示されているものの概要は以下の通り。

1. 平成18年度予算における削減効果 (公共事業コスト削減を除く) **▲332億円**

(内訳)	(▲千円)
公用車の効率化	113,124
公共調達の効率化	1,109,294
電子政府関係の効率化	21,314,025
アウトソーシング	1,543,623
IP電話の導入	15,961
統計調査の合理化	492,498
国民との定期的な連絡に関する効率化	5,453,000
出張旅費の効率化	842,625
環境にも配慮したエネルギー・資源使用の効率化 (一部再掲※)	2,839,652

※公共調達の効率化による削減効果を含む。なお、金額の合計に当たっては重複分を除いている。

(注) 平成17年度予算における削減効果 (公共事業コスト削減を除く) **▲115億円**

2. 平成16年度における公共事業コストの削減効果 **▲3,355億円**

(注) 平成15年度における公共事業コストの削減効果 **▲3,049億円**

[参考] 電子政府関係の効率化による将来削減効果 (試算) **▲645億円**

(内訳)	(▲億円)
各府省共通業務・システムの最適化計画の実施による効果 (試算値)	408
旧式 (レガシー) システム等個別府省業務・システムの見直しによる将来削減見込額	236

注) 上記の数値は、各業務・システムごとに対象期間、推計方法が異なるが、これらを合計したもの。

(備考)

平成18年度の予算編成においては、予算の質の向上・効率化を図る観点から、以下のような取組みを始めとする努力も行われている。

- 平成16年度予算に計上された事務事業について予算執行実績を把握し、これを的確に踏まえて必要な見直しを行い、その結果を18年度予算に適切に反映
 - ※ 予算積算と執行実績との間の顕著な差を見直すとの観点から、予算執行実績を18年度予算に反映した事務事業に係る反映額662億円
- 平成17年度予算執行調査(53事業)の調査結果を踏まえ、予算執行の改善を図るとともに、予算の効率化・合理化を実現
 - ※ 18年度予算への反映額260億円(歳入反映額10億円、予算の有効性・透明性の向上40億円を含む)